

「この世でキリストを証しする」

～「復活信仰」「絶対者との出会い」～

「愛する皆さん。私は、まだその目標に達してはいません。すなわち、過去に執着せずに、前にあるものを望み見、ゴールに到達して神の栄冠を得るために、一生懸命努力しているのです。この栄冠を与えようと、神は私たちを天へと召しておられます。それは、キリスト・イエスが成し遂げてくださった救いによるのです。」 ピリピ人への手紙3章13,14節 [リビングバイブル]

パウロは復活の希望を語りました。そして、このピリピ書では、その復活こそが私たちの希望であり、永遠に追求していく人生の目標なのだと語っています。

横浜カルバリーチャペルの名誉牧師である武井博先生の奥様のお父様は、90歳を超えて、突然キリストを求めました。その理由は「復活」でした。牧師となった武井先生にある時電話をかけてきて、「キリスト教には復活の希望は本当にあるのか？」という大いなる質問を投げかけました。武井先生は非常にビックリしましたが、即座に、「ハイ、あります」とお答えになりました。そうしたら、お義父様は、「分かった。では私はキリストを信じる」とお答えになりました。そして、後日青森からはるばる大和まで来られて、大川先生から洗礼をお受けになりました。このお義父様にとっての「復活」とはそれほどまでに、90年以上も生きて来たすべてものをひっくり返すくらいに大いなる意味をもたらしたのです。

パウロにとっての「復活」も同様でした。どんな力強いこの世の考え方も及ばないものが聖書の教える「復活」の中にはあるのだとパウロは語っているのだと感じます。

皆様はいかがでしょう？ 死ということを目の前にすることで私たちは本当の生をいうことを考えるようになるということを知ったことがあります。まさにそのような世界なのでしょう。この世の相対的である人間社会を超越した「絶対者との出会い」によって、パウロの人生観が完全に変化してしまいました。

「この世でキリストを証しする」ために私たちは何か特別なことをする必要はありません。主を第一として、与えられた立場で誠実に生きていくことを通して、私たちの内におられる「復活」の主が現れてくださると信じるのが大切です。そして、主が導いてくださることに従って進んで行けば良いのです。

以前にこの上田の教会でご奉仕して下さった、梅里先生ご家族と山本先生ご家族は岡山で「新天地育児院」という施設で働きつつ、教会の開拓伝道をなさっておられますが、石井長老ご夫妻がご連絡下さり、守られ、お元気とのことでした。その他、被災地で証しをしておられる兄弟姉妹たちのことをも覚えながら、共に祈りを捧げてまいりましょう！